

大会宣言（案）

今、我々はここに、結集する意義の大きさを確認する。

先人達の流した汗とその重さを継承し、日本農業の発展と地域社会に貢献する新たな歴史を創る当事者として、幾多の課題に対して正面から取り組まなければならない。

原油及び飼料価格の高騰、農畜産物価格の下落や輸入農畜産物の増加、耕作放棄地の増大により、再生産原資の確保もできず、地域農業の活力の低下が進んでいる。

時代の変遷と共に世界的規模で環境や暮らしが様変わりし、農業に携わる者の役割も重要性を増す中、貿易規律の強化がもたらす結果についても、日頃から重大な関心をもち、より適切な対応が求められている。

こうした中、「経営所得安定対策等大綱」の見直しがなされ、我々はこの基本農政の政策議論に関し、責任ある担い手の立場として課題を整理し強く政策提言を行ってきた。しかし、依然予断を許さない状況にあり、今後とも我々青年部盟友が率先して、生産現場の声を伝えていく使命がある。

今後、我々は世界的視野に立ち日本農業の在り方を発信していくことは勿論のこと、国民との合意形成を図りながら、農業政策の確立に向けて、攻めの農業を断行するものである。

我々は、農に生きる者として、生産する喜びを感じ、強く逞しい行動をもって自己の研鑽を図り、より深い見識と高い意欲を持った青年農業者の育成を自ら行うことが、組織活性化への最大の近道であることを確信し、期待に応えるよう成長しなければならない。

最後に、本大会を契機として、未来を開拓する誇り高き青年の情熱をもって奮い立ち、『食』と『農』の未来図を自らが率先して画くことを誓い、ここに強く決意する。

以上宣言する。

平成20年 2月14日
第54回JA全国青年大会